

姫島から出る黒曜石は黒と言うより灰色である。この灰色の黒曜石から作られる石器は瀬戸内海一帯で見つけられてきた。これらの道具のあるものは 1 万年以上にもさかのぼるものがあり、その地域に関するどのような書かれた歴史よりも先だって日本列島で重要な貿易があったことを示している。姫島の乳白色がかった灰色の黒曜石で作られた道具は、南は鹿児島の子島まで、そして東は大阪に至るまで見つかってきた。2013 年姫島は独特の黒曜石と火山が集中(わずか 7 平方kmの地域に 7 つの火山あり)していることで国立ジオパークとして登録された。